

令和7年第2回福祉文教常任委員会 要点記録

開閉会日時	令和7年5月20日（火曜日）			開会	9:54	会議場所			別海町議会 委員会室2・3	
				閉会	14:21					
委員の出欠	2 番	吉田 和行	出席	4 番	伊勢 徹	出席	5 番	貞宗 拓雄	出席	
	7 番	横田 保江	出席	8 番	田村 秀男	出席	10 番	外山 浩司	出席	
	13 番	中村 忠士	出席							
出席説明員	福祉部		福祉部長		福祉部次長		介護支援課長		老人保健施設すこやか事務長	
			宮本 栄一	出席	石戸谷友絵	出席	高橋 勇樹	出席	渡辺 久利	出席
			福祉課主幹		福祉課主幹		介護支援課主査		介護支援課主査	
			澤田 憲一	出席	松本 静香	出席	天神 幸子	欠席	山崎 さおり	欠席
			居宅介護支援事業所長		地域包括支援センター長		老人保健施設すこやか主幹		老人保健施設すこやか主幹	
			大道 詳子	欠席	井川 仁	欠席	高橋 知美	欠席	門間 さおり	欠席
			老人保健施設すこやか主査		老人保健施設すこやか主査		老人保健施設すこやか主査		訪問看護ステーションやまびこ所長	
	信免 明花	欠席	佐藤 裕美	欠席	加藤 真末	欠席	堀 留美	欠席		
	保健生活部		保健生活部長		保健生活部次長		保健生活部次長		生活環境課長	
			小川 信明	出席	谷村 将志	出席	千葉 宏	出席	上田 健一	出席
			母子健康センター長		町民課主幹		町民課主査		町民課主査	
			根本 博美	出席	平下 奈津子	欠席	永田 恵一	欠席	加藤 美和	欠席
			生活環境課主幹		生活環境課主査		生活環境課主査		保健課主幹	
			佐藤 政士	欠席	小野 絵里	欠席	中川 雅章	欠席	畠澤 みどり	欠席
			保健課主幹		保健課主査		保健課主査		母子健康センター主幹	
			佐伯 祐司	欠席	岩光 理代子	欠席	對馬 恵子	欠席	高橋 美香	出席
			母子健康センター主査		母子健康センター主査		こども家庭センター総括支援員		こども家庭センター主査	
			渡辺 久恵	欠席	佐藤 睦美	欠席	能登 麻奈美	欠席	高橋 典子	欠席
	こども家庭センター主査		こども家庭センター主査							
	佐藤 佐智子	欠席	林 美紀子	欠席						
	教育委員会		教育部長		指導主幹		指導主幹		教育部次長	
			干場 みゆき	出席	稲村 和典	欠席	野口 泰秀	欠席	角川 具哉	出席
			教育部次長		生涯学習センター長		指導参事		生涯学習課長	
			田畑 直樹	出席	福原 義人	出席	瀬川 航平	出席	立澤 雅彦	出席
			西公民館長		東公民館長		図書館長		学務課主幹	
	竹中 利哉	出席	門間 勝司	出席	堺 啓	出席	高津 寛人	出席		

令和7年第2回福祉文教常任委員会 要点記録

出席説明員	教育委員会	学務課主幹		学務課主幹		学校教育課主査		学校教育課主査	
		武田 文吉	欠席	伊井 崇史	欠席	戸野 晶雄	欠席	真籠 美香	欠席
		生涯学習課主幹		生涯学習課主査		給食センター主査		中央公民館副館長	
		恒川 敦史	出席	松本 芳樹	出席	大森 晴海	欠席	今野 学	欠席
		西公民館副館長		東公民館副館長		図書館主査		郷土資料館副館長	
		竹本 誠	欠席	福原 仁史	欠席	吉田 美奈子	欠席	石渡 一人	欠席
		郷土資料館主幹							
	戸田 博史	欠席							
	別海病院	事務長		事務課長		事務課主幹		事務課主幹	
		三戸 俊人	出席	椋木 直人	出席	大森 圭介	出席	奈良 司	出席
委員外の出席	議長	西原 浩				合計	1名		
事務局職員	主幹	木幡 友哉				合計	1名		
傍聴者数	議員	0名	報道関係者	0名	合計	0名			

会議に付した事件及び会議結果など	
発言者	会議経過 ※所管毎に議事を行う事情等により議事番号が前後することがある。
委員長 9番 外山	9:54 開会、出席委員 7名、委員外 1名、会期 1日。
	福祉部所管事務調査
	議事 1 所管事務調査について
	(1)子ども・子育て支援について
福祉部長 宮本	・子ども・子育て支援について説明する。また、地域密着型介護サービス愛遊夢の外構整備工事について報告する。駐車場の舗装工事を 6 月定例会に提案予定である。
福祉課主幹 松本	・令和 7 年度施設別入園児童数について説明する。保育所型認定こども園 3 園で 145 名、へき地保育園 3 園で 29 名が在園している。保育士は 48 名、待機園児数について 12 月時点では待機はないが、途中入園問合せが令和 6 年度 19 件あった。病児保育は令和 4 年 2 月から開始し、登録者 70 名、4 月の利用件数 8 件である。
委員 2番 吉田	・待機園児数の考え方について伺う。12 月段階での申込み時点での待機園児数はあるか。
福祉課主幹 松本	・12 月現在では待機園児はいない。途中入園は別海保育園と上西春別保育園の希望が多い。
委員 2番 吉田	・入園していない 2 件の理由は何か。その後のサポート対応はあるか。
福祉課主幹 松本	・空きがなくて受入れできなかった。私立保育園を紹介している。
委員 8番 田村	・認可定員の基準は満たされているか。定員と利用者数の乖離について条例改正の考えはあるか。保育士配置基準について伺う。
福祉部次長 石戸谷	・基準は満たされている。現時点で条例改正は考えていない。保育士配置は最低 2 名必要で、加配が必要な子供が増えている状況である。
委員 8番 田村	・定員 90 名に対し利用 29 名という乖離があるが、改正しない理由は何か。
福祉部次長 石戸谷	・子ども・子育て会議で協議する。本別海へき地保育園は 2 年連続休園で、園の継続について協議している。
福祉部長 宮本	・人数乖離については今後の見込みを含めて子ども・子育て会議で検討していく。
委員 13番 中村	・パートタイム職員の人数は何名か。令和 7 年度入園していない 2 件の事情は何か。
福祉課主幹 松本	・パートタイム会計年度任用職員は 18 名登録している。入園していない 2 件は別海保育園希望で空きがなかった。
委員 13番 中村	・別海保育園の今後の途中入園対応はどうか。
福祉課主幹 松本	・別海保育園と上西春別保育園は現在受入れしていない。
福祉部次長 石戸谷	・0 歳児は 3 名につき保育士 1 名必要で、保育士配置が困難な状況である。
委員 2番 吉田	・0 歳児が 1 人増えると何名の職員が必要か。
福祉部次長 石戸谷	・1 人園児が増えただけでも保育士 1 人必要になる。
委員 4番 伊勢	・尾岱沼エリアは 0 歳から 2 歳児を見る施設がなく不公平感がある。住民は不平を持ちながら我慢している状況である。
委員長 9番 外山	10:43 福祉部所管事務調査終了、休憩。
委員長 9番 外山	10:51 再開。
	保健生活部所管事務調査

<p>保健生活部長 小川</p> <p>母子健康センター長 根本</p> <p>委員 2 番 吉田</p> <p>母子健康センター長 根本</p> <p>委員 2 番 吉田</p> <p>母子健康センター長 根本</p> <p>委員 2 番 吉田</p> <p>母子健康センター長 根本</p> <p>委員 4 番 伊勢</p> <p>保健生活部長 小川</p> <p>委員 8 番 田村</p> <p>母子健康センター長 根本</p> <p>委員 13 番 中村</p> <p>母子健康センター長 根本</p> <p>委員 8 番 田村</p> <p>委員 2 番 吉田</p> <p>委員長 9 番 外山</p> <p>委員長 9 番 外山</p>	<p>議事 1 所管事務調査について</p> <p>(1)子ども・子育て支援について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まずは、エゾシカ有害駆除の一時中断・再開について状況報告する。道路上発砲の疑いで中断したが、法令遵守徹底を図り再開する。 ・産後ケア事業について説明する。対象は産後 1 年未満の母子で、令和 6 年度から無料化した。利用率は 8 割を超え、初産婦は 9 割以上が利用している。令和 7 年度から尾岱沼の温泉旅館で宿泊型、母子健康センターでデイケア型ロングを実施予定である。 ・宿泊型とデイケア型ロングの利用料金はいくらか。 ・令和 6 年度から全て無料である。 ・回数制限はあるか。町の負担額はいくらか。 ・ショート 7 回、ロング 3 回、宿泊型 6 泊 7 日まで。町外委託先は 1 泊 5～6 万円、うたせ屋は 1 万 6,600 円プラス助産師素泊まり 8,900 円である。 ・町内の委託契約は今後継続するか。 ・うたせ屋は生後 6 か月未満対象で、利用状況を見て今後の委託を検討する。 ・町内施設の活用は経済効果もありウィン・ウインの関係だ。他の宿泊施設も手を挙げることを期待する。 ・うたせ屋はテストケース的な面が強い。夏の繁忙期や冬の厳寒期の課題もあり、他の施設も探していく必要がある。 ・予算 781 万 5,000 円の内訳を確認する。 ・国補助 390 万、道補助、ふるさと応援基金 190 万の内訳である。 ・アンケートで利用しなかった理由について、上の子がいる場合や家族の同意が必要な場合への対応はどうか。 ・経産婦の課題で、上の子の問題は継続的課題である。安全面から上の子を見る大人の同伴が必要だが、家庭状況により難しい場合もある。 ・国と道から 3 分の 2 もらえ、ふるさと応援基金活用で町費はほとんどかからない。課題があれば町単独でも対応すべきではないか。 ・どこまでやるかの問題だが、1 人目を産みやすい環境づくりには有効だ。別海町で産んでみようという人が 1 人でも増えればよい。 <p>11:27 保健生活部所管事務調査終了、休憩。</p> <p>12:58 再開。</p>
<p>病院事務長 三戸</p> <p>事務課主幹 大森</p>	<p>別海病院所管事務調査</p> <p>議事 1 所管事務調査について</p> <p>(1)町立別海病院の経営状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護師 3 名、管理栄養士 1 名を新規採用、7 月に看護師 1 名採用予定。尾岱沼診療所に菅医師が 4 月から赴任、西春別駅前診療所は 9 月から針生医師が着任予定である。札幌医科大学に支援要請も行った。コロナ・インフル感染は減少傾向だが発熱外来等は継続している。 ・令和 6 年度経営状況について説明する。入院患者 1 万 7,418 人で前年比 520 人減、外来患者 6 万 8,218 人で 3,827 人減である。医業収益 11 億 727 万円で 1 億 6,868 万円減、医業費用

<p>委員 5 番 貞宗 病院事務長 三戸 委員 8 番 田村 事務課主幹 大森 委員 2 番 吉田 事務課長 榎木 病院事務長 三戸 委員 13 番 中村 事務課主幹 大森</p>	<p>21 億 9,793 万円で 8,298 万円減、事業収支はマイナス 3,206 万円である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町長が 4 月頃に内科医が 1 名入ると話していたが入ったのか。 ・本院の内科医はまだ決まっていない。 ・7 次計画の令和 5 年度実績と今回資料の数字が 4,000 人違うが理由は何か。 ・リハビリと健康診断を統計から除外している違いと思われる。後で確認する。 ・小児科が 1,904 人減少した理由は何か。 ・感染症流行による増減が大きく影響している。 ・令和 5 年度は感染症で小児科外来が大幅に増えた反動である。 ・医師減による給与費減額はいくらか。 ・給料 4,782 万円減、手当 4,893 万円減、報酬 3,690 万円増で、外部医師依頼が 3,000～4,000 万円増えている。
<p>委員 8 番 田村 病院事務長 三戸</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・助産師が母子センターに異動した影響はあるか。 ・今年度から約 6,000 万円の影響がある。 <p>奨学金利用の看護師 3 名全員が戻ってきた。総合政策部の協力隊活動と連携して看護師確保も進めている。来年度は奨学金借用者がいない状況である。</p>
<p>委員 5 番 貞宗 病院事務長 三戸</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ネット時代で医師同士のコミュニケーションが見える中、仮に別海町への批判的記載があると医師確保に影響する。現場職員の働きかけが重要である。 ・医師同士の相性が重要で、現在の少ない医師の中では協力体制ができています。院長らからの紹介が一番ありがたいが難しい状況である。
<p>委員 2 番 吉田 病院事務長 三戸</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ対応はいつまで続けるのか。町民はもうインフル同様の認識ではないか。 ・院内委員会で毎月判断している。発生者数減少で元の体制に戻す方向だが、クラスター発生もあり状況に応じて対応する。
<p>委員長 9 番 外山 委員長 9 番 外山</p>	<p>13:40 別海病院所管事務調査終了、休憩。 13:50 再開。</p>
<p>教育部長 干場 学務課主幹 高津 委員 8 番 田村 学務課主幹 高津 教育部次長 角川 委員 4 番 伊勢 教育部次長 角川 委員 8 番 田村 教育部次長 角川</p>	<p>教育委員会所管事務調査 議事 1 所管事務調査について (1)小中一貫教育及び別海高等学校の魅力向上や支援事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寄宿舍・通学費助成は学務課から、部活動派遣費補助・外部指導者派遣は生涯学習課から説明する。 ・寄宿舍施設等助成事業について説明する。19 室で令和 6 年度 17 名入居、月額 6 万円限度で年間 1,368 万円である。通学費助成事業は令和 6 年度 113 名に 1,175 万円を全額補助した。 ・男女別部屋の配分や 10 年協定の継続、収支状況はどうか。 ・女性フロアをなくし空室解消に努めている。 ・協定延長を望んでいるが物価高騰で厳しい経営状況である。現在 17 名入居でトントンの状況だ。 ・19 室で 17 名なら 2 室空きだが、20 名来た場合の対応は考えているか。 ・19 室で運営していきたい。ボイラー音で使えない部屋もある。 ・下宿等への補助要綱もあるのではないか。 ・要綱上は下宿も対象で、必要時には協議して進める。

委員 4 番 伊勢	<ul style="list-style-type: none"> ・築 40 年近い施設の耐用年数は把握しているか。 ・法的耐用年数は把握していないが、長期でなく 3～5 年の短期スパンで継続協議したい。 ・部活動等派遣費補助事業について説明する。令和 7 年度予算 550 万円で、令和 6 年度実績は 631 万円である。 ・外部指導者派遣事業について説明する。令和 7 年度予算 190 万 2,000 円で、令和 6 年度は野球部 1 名で 142 万 946 円の実績である。 ・野球部外部指導者は監督かトレーナーか。 ・令和 7 年度は監督が高校教員で、外部指導者はトレーナーである。 ・プロ野球チームの地域おこし協力隊をトレーナーや監督にできないか。 ・プロ野球選手は高校生指導が禁止されている。 ・物価高でバス代や宿泊費が上がっているが予算で賄えるか。 ・小中学生は宿泊費を 5,000 円から 1 万円に上げたが、高校は地区予選も補助しており現状維持である。 ・以上で第 2 回福祉文教常任委員会を終了する。
教育部次長 角川	
生涯学習課主幹 恒川	
生涯学習課主査 松本	
委員 4 番 伊勢	
生涯学習課長 立澤	
委員 4 番 伊勢	
生涯学習課長 立澤	
委員 4 番 伊勢	
生涯学習課長 立澤	
委員長 9 番 外山	
委員長 9 番 外山	14:21 閉会